技能実習1号実施計画書モデル例

□ 技能実習1号イ レ 技能実習1号口

2017 年 8月 1日 作成

【技能実習 1 号 予定期間】 2017年 12月 1日 ~ 2018年 12月 1日

 【技能実習 1 号 予定期間】
 2017年 12月 1日 ~ 2018年 12月 1日 予定期間】
 【監理団体】 (技能実習 1 号口の場合) 名 称: 国際研修協同組合 責任者: 国際 次郎 (役職): (事務局長)
 【実習実施機関】 名 称: 株式会社ビルクリーニング業 責任者: 技能 実夫 (役職): (総務部長)

技能 実習科 目(技能実習内容)	総時間		技	能	実	翟		月	•	時	間	数	
技能実習指導員の役職・氏名(経験年数)		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
講習	320	•											
1. 必須作業(移行対象職種・作業で必ず行う作業) (1)ビルクリーニング作業 ①作業の段取り 1) 器具及び資材の取扱及び整備作業 2) 什器及び備品等の取扱作業	936				Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
②クリーニング作業(作業対象:部位別(床面等)及び場所別(事務室等) 1)清掃作業の補助作業 使用器具(ほうき、文化ちり取り、モップ、静電気ほこり取り、タオル ダストクロス、超極細クロス、ハンドパッド、フロアパッド、デッキブラ ウィンドスクイジー、シャンパー、フロアースクイジー、汚水取り、 スクレーパー、毛かき、プランジャー、廃棄物コレクター、作業カー 使用資材(洗剤、水石けん、衛生消耗品等)													
③ベッドメイク作業 (2)安全衛生作業	104			Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	\triangle
①雇入れ時等の安全衛生教育 ②作業開始前の安全確認作業 ③整理・整頓・清掃・清潔・習慣の遵守 ④作業者間の安全確認作業 ⑤保護具及び安全標識・装置の確認作業 ⑥服装の安全点検作業 ⑦ビルクリーニングにおける事故・疫病予防 ⑧労働衛生上の有害性を防止するための作業 ⑨異常時の応急措置を修得するための作業 ⑩報告・連絡・相談(ホウ・レン・ソウ)の遵守													
職長:国際太郎(15年)													
2. 関連作業、周辺作業 (1)関連作業 1. 資機材倉庫の整備作業 2. 建物外部洗浄作業(外壁、屋上等)	380			<u>△</u>	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	<u>\</u>
(2)周辺作業 1. 建築物内外の植栽管理作業(灌水作業等)	120		•	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	\triangle
2. 資機材の運搬作業(他の現場に移動する場合等) 3.客室等整備作業(ベッドメイク作業を除く) (3)安全衛生作業(関連作業、周辺作業を行う場合は必ず実施する作業)	60			Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
上記※に同じ 職長:国際太郎(15年)				•									-
合 計 時 間	1600			160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
総技能実習時間(講習+技能実習)	1920 7 年日の	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160

(注)予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印(←→)で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素 材(材料) ※作業対象 項目	(1)部位別作業 ①床面(弾性、硬性、繊維系、木質系 ②壁面(壁、窓、窓枠等) ③立体麺(扉、柱、便器、洗面台、ブラ ④什器及び備品(机、椅子、ロッカー等 ⑤天井面(換気扇、空調吸排口、照明	②事務室 ラインド等) ③会議室、役員 等) ④客室、病室	②食堂 ③食堂 真室及び応接室 ⑩更衣室、浴 毎 一 一 回喫煙スペー レベータホール ⑫ごみ集積所	ř
使用する機 械、設備、器 工具等 ※使用予定 のものの記 載でよい	(1)主な器具(1~19は必ず使用) 1.ほうき(自在、シダ等) 2.文化ちり取り 3.モップ(乾式、湿式 T字型、フラット型、 ダ 4.静電気ほこり取り 5.タオル (2)主な資材(1~3は必ず使用) 1.洗剤(酸性、アルカリ性 及び中性)	6.ダストクロス 7.超極細繊維クロス 8.ハンドパッド 9.フロアパッド 10.デッキブラシ 11.ウインドスクイジー 12.シャンパー 2.水石けん 3.衛生消耗品	13.フロアースクイジー 14.汚水取り 15.スクレーパー 16.毛かき 17.プランジャー 18.廃棄物コレクター 19.作業カート 4.床維持剤 5.帯電防止剤	20.保護手袋・保護マスク 21.作業標示板 22.漏電・過電流防止装置 23.計量カップ 24.高所用ワイパー 25.ベッド 26.マットレス 6.金属保護剤 7.その他汚染防止剤
	(3)主な機械、設備(附属品を含む)等 1.真空掃除機(ポット型 及びアップライト型)	2.ポリッシャー 3.吸水バキューム	4.自動床洗浄機 5.エクストラクター	6.高圧洗浄機 7.送風機
	特定の製品ではなく、ビルクリーニングイ 指導員名 国際 太郎 免許・資格等 1.単一等級又は1%	作業の結果が製品 吸ビルクリーニング技能士		

技能実習2号(1年目)実施計画書モデル例

□ 技能実習 2 号イ 技能実習 2 号口

					1人 1人 1人 1人	白乙万口				
	□ 技能実習2号1年コース □ 技能	実習2号2年	コース	1年記	2年目)	20)18 年	8月	1日 1	作成
【技能実習2号 予定期間】	2018年 12月 1日 ~ 2019年 12月 1日	【監理団体】	(技能実習 2 号□	の場合)	【宝	習実施機関	1			
【技能実習	職種名: ビルクリーニング	名 称: 責任者:	国際研修協同国際 次郎	組合	名	称: *	朱式会社		リリーニ	
対象職種】 【技能実習生人数】		(役職):	(事務局長)	E	(役	:職):	支能 美総務部	長)		(FI)
【到達目標】目標:			美習実施場所 】	-	称: 株式会社			214		
時期: 技能実	習 2 号 1 年目の 9 月目 確認方法: 技	能検定基礎1	級の受検	所在:	地: 東京都籍	折宿区西新	宿〇-C)-()()		
	能 実 習 科 目 (技能実習内容)		V 44 88	技 能	実	3 月	•	時	間	数

時期	: 技能実習2号1年目の9月目 確認力	7法: 技能検定基礎	麗1級の受権	矣			也: 東	京都新	宿区世	由新宿()-()-(00			
	技能実習科目(技能実習内容) 技能実習指導員の役職・氏名(経験年数		総時間	1月目	技 2月目	能 3月目	実 4月目	習 5月目		月 7月目	• 8月目	時 9月目	間 10月目	数 11月目	
1. 必須作業((1)ビルクリー ①作業のほ	移行対象職種・作業で必ず行う作業) -ニング作業	,	1036	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
1) 資機材(器具、資材及び機械)の取扱及び整備作業 2) 什器及び備品等の取扱作業															
②クリーニング作業(作業対象:部位別(床面等)及び場所別(事務室等) 1)日常清掃作業 使用器具(○○○ ・・・) 使用資材(○○○ ・・・) 使用機械(真空掃除機、ポリッシャー等)															
	イク作業 ドメイク作業 使用器具(ベッド、マットレス、シーツ)														
(2)安全衛生作業 ①雇入れ時等の安全衛生教育 ②作業開始前の安全確認作業 ③整理・整頓・清掃・清潔・習慣の遵守 ④作業者間の安全確認作業 ⑤保護具及び安全標識・装置の確認作業 ⑥服装の安全点検作業 ⑦ビルクリーニングにおける事故・疫病予防 ⑧労働衛生上の有害性を防止するための作業 ⑨異常時の応急措置を修得するための作業 ⑩報告・連絡・相談(ホウ・レン・ソウ)の遵守				<u>△</u>		Δ				Δ			Δ	Δ	
	職長:国際大	、郎(15年)													
2. 関連作業、周辺作業 (1)関連作業 1. 資機材倉庫の整備作業 2. 建物外部洗浄作業(外壁、屋上等)			460	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	\triangle
(2)周辺作業 1. 建築物内外の植栽管理作業(灌水作業等)			228	<u> </u>	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	\triangle
2. 資機材の運搬作業(他の現場に移動する場合等)3.客室等整備作業(ベッドメイク作業を除く)(3)安全衛生作業(関連作業、周辺作業を行う場合は必ず実施する作業) 上記※に同じ			80	\triangle	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	\triangle
	合 計 時 長には、当該科目の開始月より修了月までの間	間 『を矢印(←→)で結?	1 <mark>920</mark> び、矢印の上	1 <mark>60</mark> に各月	160 に行う		160 を記載	160 してくた	160	160	160	160	160	160	160
使用する素 材(材料) ※作業対象 項目	②壁面(壁、泵、窓枠等) ②事務室 ⑨食室 ⑩トイレ及び洗面所 ③立体舞(扉、柱、便器、洗面台、ブラインド等) ③義養室、役員室及び応接室 ⑩東友室、浴室及びシャワールーム ②供題では、おこれは、彼)														
使用する機 械、設備、器 工具等 ※使用予定	(1)主な器具(1~19は必ず使用) 1.ほうき(自在、シダ等) 6 2.文化ちり取り 7 3.モップ(乾式、湿式 8 T字型、フラット型、 9 ダ 1 4.静電気ほこり取り 1 5.タオル 1		13.フロ 14.汚ュ 15.スク 16.毛が 17.プラ 18.廃動 19.作動	水取り ルーパ かき ランジャ 乗物コレ	ペー ペー ・		20.保護手袋・保護マスク21.作業標示板22.漏電・過電流防止装置23.計量カップ24.高所用ワイパー25.ベッド26.マットレス					27.シー	ーツ		
のものの記 載でよい	(2)主な資材(1~3は必ず使用) 1.洗剤(酸性、アルカリ性 2 及び中性) 3	4.床維持剤 5.帯電防止剤						6.金属保護剤 7.その他汚染防止剤							
	(3)主な機械、設備(附属品を含む)等 1.真空掃除機(ポット型 2 及びアップライト型) 3		4.自動 5.エク					6.高圧 7.送風	洗浄機	SSS CONTRACTOR OF THE CONTRACT					
製品の例	特定の製品ではなく、ビルクリーニング作業の	の結果が製品													
指導体制	指 導 員 名 国際 太郎 免許・資格等 1.単一等級又は1級ビノ	レクリーニング技能士													_

技能実習	9 是 (′9年日	宇協計	まま面	デル個
17 115 天 白	$\angle \vdash \vdash $	$Z \rightarrow \Box$	/ X //// 11		1 11/19

技能	実習2号(2年目)実施計画	書モデル例							図 2 号/ 図 2 号)						
【技能実 ² 対象 【技能実 ² 【到達目	習 職種名: ビルクリーニング 作業名: ビルクリーニング 育生人数】 標】目標: 技能検定3級合格	12月 1日 【監理団 名 称	本】(技能実 : 国際研 : 国際 : (事務) : (実習実施	習2号E F修協同 次郎 局長)	組合	一) 即 名 科	2年目) 【実習 名 責 (<mark>式会</mark> 社	習実施模 称: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ で で で で で で で で で で で	2019 幾関】 株式 技能 (総)	大会社 と 実 り 務部長 ニング	夫) 業		作成 ング業 [〔]	
	技能実習料目(技能実習内 技能実習指導員の役職・氏名(経験年]容) F数)	総時間	1月目	技 2月目	能 3月目	<u>実</u> 4月目	習 5月目		月 7月目	• 8月目	時 9月目	間 10月目	数 11月目	12月
(1)ビルクリー ①作業の 1) 資機	(移行対象職種・作業で必ず行う作業) ーニング作業	327	1036	<u>△</u>	<u>\(\)</u>	Δ	<u>△</u>	Δ	<u>△</u>	Δ	Δ	Δ	Δ	<u>\</u>	△ →
1)日常	ング作業(作業対象: 部位別(床面等)及び 清掃作業 清掃作業 使用器具(〇〇〇 ・・・) 使用資材(〇〇〇 ・・・) 使用機械(真空掃除機、ポリッシャー等)	場所別(事務室等)													
	イン IF来 ドメイク作業 使用器具(ベッド、マットレス、シーツ)														
②作業開 ③整理・整 ④作護共者 ⑤保装の ⑦ビルクリ ⑧労働衛 ⑨異常時	定作業 時等の安全衛生教育 始前の安全確認作業 整頓・清掃・清潔・習慣の遵守 間の安全確認作業 及び安全標識・装置の確認作業 安全点検作業 ーニングにおける事故・疫病予防 生上の有害性を防止するための作業 の応急措置を修得するための作業 連絡・相談(ホウ・レン・ソウ)の遵守	*	116	<u>△</u>	Δ	Δ						Δ	Δ		
	職長:国	際太郎(15年)													
			576	<u>△</u>	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
2. 資機	美 医物内外の植栽管理作業(灌水作業等) 終材の運搬作業(他の現場に移動する場合会等整備作業(ベッドメイク作業を除く)	等)	288	<u>△</u>	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
(3)安全衛生 上記※に		、ず実施する作業) 際太郎(15年)	96	<u> </u>	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
(注)予定	合 計 時 表には、当該科目の開始月より修了月まで	間 の間を矢印(←→)で結	<mark>1920</mark> び、矢印の上	160 こに各月	160 に行う	160 時間数	160 を記載	<u>160</u> してくオ	160 ごさい。	160	160	160	160	160	160
使用する素 材(材料) ※作業対象 項目	②壁面(壁、窓、窓枠等) ②事務室 ⑤食室 ⑤り食室 ⑥パイレ及の洗面所 ③立体麺(扉、柱、便器、洗面台、ブラインド等) ③金議室、役員室及び応接室 ⑥関標スペッス ※ 2 ② ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※														
使用する機 械、設備、器 工具等 ※使用予定	(1)主な器具(1~19は必ず使用) 1.ほうき(自在、シダ等) 2.文化ちり取り 3.モップ(乾式、湿式 丁字型、フラット型、 ダ 4.静電気ほこり取り 5.タオル	13.フロアースクイシ 14.汚水取り 15.スクレーパー 16.毛かき 17.プランジャー 18.廃棄物コレクター 19.作業カート						20.保護手袋・保護マスク 27.シー 21.作業標示板 22.漏電・過電流防止装置 23.計量カップ 24.高所用ワイパー 25.ベッド 26.マットレス							
のものの記 載でよい	(2)主な資材(1~3は必ず使用) 1.洗剤(酸性、アルカリ性 及び中性)	酸性、アルカリ性2.水石けん性)3.衛生消耗品			4.床維持剤 5.帯電防止剤				6.金属保護剤 7.その他汚染防止剤						
	(3)主な機械、設備(附属品を含む)等 1.真空掃除機(ポット型 及びアップライト型)		4.自動床洗浄機 6.高圧洗浄機 5.エクストラクター 7.送風機												
製品の例	特定の製品ではなく、ビルクリーニング作	業の結果が製品													
指導体制	指 導 員 名 国際 太郎 免許・資格等 1.単一等級又は1級	ゼルクリーニング技能士	-												